

# とことこ通信

平成30年3月26日  
ときわ・ことり保育園

今年度も残すところあと数日となりました。

子ども達は、“もう少しでゆり組になれる・すみれ組になれる”など、進級への期待で胸を弾ませています。

保護者の皆さまのご理解ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 日々の生活で“気づき”が身に付きます

・ トイレのスリッパが乱れていることに気づいた子が、「先生スリッパぐじゃぐじゃ」と、教えに来てくれました。「揃ってなくて気持ち悪いね。一緒に揃えてくれるかな。」と、言うとすぐに、保育者と共に揃えてくれました。「スリッパ揃ってるとどんな気持ち」と、尋ねると「気持ちいい」との答えが返ってきました。「ありがとうね。お友だちにも教えてあげようね。」と、伝えるととてもうれしそうな表情が伺えました。

・ なかなか靴を履くことの出来ない3歳の子が、今にも泣き出しそうな顔で座っていました。後ろからそっと見ていると、隣にいた友達が心配そうに頭をなで「大丈夫」と言いながら靴のマジックテープをはがしてあげておりました。

こんな小さい子でも周りの様子に気づき“助けてあげたい”という気持ちが育ってしてくれたことが、とてもうれしく感動しました。

☆ 遊びに夢中な子ども達もしっかり周りを見ながら生活をしている・・・と、思うと私達大人も“子どもに、恥しくないような生活を”と、思わずにはられません。ほっとするような小さな発見をすると、一日心が軽くなったような気がします。生活に追われていると何も気づかず、見えずに過ごしてしまいます。「春の風には、色がある」と20年位前に卒園した子が、年長児の時に話してくれた事を思い出します。きれいな色、好きな色を身につけて“おさんぼ”に出かけてみませんか。

